

| めざす学校像・子ども像・教員像 | | 課 題 | 今後の改善方策 |
|--|---|--|---|
| <p>○生徒一人一人が大切にされ、安心して過ごすことができる学校</p> <p>○凡事徹底～あたりまえのことがあたりまえにできる「良い習慣」が身についた生徒</p> <p>○生徒・保護者・地域との信頼関係を築くため、自らの教師力・指導力を高める努力を惜しまない教師</p> | | 確かな学力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ICTを効果的に活用した授業改善 Fノートの活用率の向上 家庭学習の定着と補充学習などの充実 |
| | | 長期欠席生徒への支援の充実を図る | <ul style="list-style-type: none"> 継続的な家庭訪問 地域社会での学び場宣伝継続 SC, SSW, 関係機関との情報交換場の定例化 オンラインで面談推進 |
| | | 小中連携を推進する | <ul style="list-style-type: none"> 感染症防止等健康、安全に係る共通な取り組み推進 小中合同研修 出前授業や授業交流推進 小中の生徒間の交流推進 |
| 重点目標 | 指標(取組指標・成果指標) | 達成状況についての説明 | |
| 確かな学力の向上を図る | <p>学期ごとに授業を自己評価するとともに、生徒への「授業アンケート」を行い、生徒にとってわかる授業を構築する。</p> <p>1年間を通してFノートの取り組みを徹底させる。(内容の充実・提出率95%以上)</p> <p>ICT活用した授業を推進し、定期考査前の補充学習・自主学習の取り組みを各学年で呼びかけ、充実を図る。</p> <p>市学習定着度調査において、平均値が「②やや上回っている」の達成を目指す。</p> | <ul style="list-style-type: none"> タブレットを活用した授業に取り組むことにより、授業改善に対する教師の意識が向上した。また、生徒はタブレットやプロジェクターを活用した授業について全校生徒の95%が「わかりやすい」と回答している。 Fノートの取り組みは提出率95%は達成できているものの、1日3回以上を目指した活用率は60%となり、学年による差があった。 家庭学習の定着率は全体で約80%となっている。定期考査前の補充学習・自主学習の取り組みについて呼びかけ、ワークやタブレットでの課題に取り組むことができています。 学習定着度調査においてはほぼ平均値であった。 | |
| 長期欠席生徒への支援の充実を図る | <p>担任・教育相談コーディネーターを中心に学校に来ていない生徒には、週に1回以上の家庭訪問を行い、信頼関係を醸成する。</p> <p>公民館(地域)の活動への参加を促し、校外における支援を進める。</p> <p>SC・SSWと密に情報交換を行い、心理面・福祉面についての家庭への支援と生徒自身の自立を促進する。</p> <p>「状況の改善が見られた生徒」の割合が60%以上を達成する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であっても、生徒の安全を確認するために、学校全体の取り組みとして、家庭訪問をすることができた。 公民館主催で行われている勉強会や体験学習は、地域の方々のご協力もあり、参加する事ができた。 長欠生徒への対応は、SC, SSWとの定期的な情報共有とともに、必要な場合は関係機関とも連携をすることができた。カウンセリングも積極的活用を推進することができた。 担任とオンラインで繋がることにより、学校や他の生徒との関わりが増えてきている。61.2%の生徒に状況の改善が見られた。3年生については、100%進路を決定した。 | |
| 小中連携を推進する | <p>小中合同のあいさつ運動を2週間に1度実施する。</p> <p>教育相談コーディネーターを小学校に定期的に訪問させ、小学校における不登校傾向の児童の支援を行う。</p> <p>授業交流・出前授業を推進し、中プロ全体で9か年を見通した共通理解・共通実践を図る。</p> <p>「小中連携が前年度より進んだ」との評価が80%以上を達成する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍において小中の委員会活動も縮小されており、活動が十分ではなかった。 小学校への訪問は控え、電話での連絡により不登校傾向児童生徒の把握と必要な支援をするための相談も実施した。 小学校に出向きオンラインで中学校入学に向けての出前授業を行った。 前年度と同様、中学校ブロックでの研修会には中止となったが、出前授業など可能な限り勧めることができた。 | |
| 学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等) | | | |

- 限られた状況の中で最大限の活動をしていただいた。
- 学校行事の様子などタブレットを活用して、保護者へみせていただいたことに感謝します。
- 生徒会や部活動の活動の様子などもHP等で知らせていただいた。
- 様々なことに創意工夫されて学力向上にも熱心に取り組んでいただき、感心しました。